

# ■2022 年度入試結果総評

—長崎県—

昨年度より、従来の「推薦入学者選抜と一般入学者選抜」から「前期・後期入学者選抜」に変更がされています。入試制度が変更してから2回目の入試である今年度の公立高校の後期選抜の志願倍率については、長崎西高校が、特に例年激戦である理系コースの倍率が昨年の1.8倍から2.2倍であり、依然として高い人気が続いている他、西高校全体の倍率も、昨年の1.1倍から1.2倍と上がりました。他の「長崎五校」は昨年並みか、昨年よりも倍率が下がる結果となりました。

## 令和4年度公立高校入試 実施状況

学校名	学科名	全定員	前期等 合格者数	後期 定員	後期受 験者数	後期受験倍率	
						今年度	昨年度
長崎西	普通	200	30	170	122	0.7	↓ 0.8
	普通(理系)	80	8	72	158	2.2	↑ 1.8
	計	280	38	242	280	1.2	↑ 1.1
長崎北陽台	普通	240	60	180	195	1.1	→ 1.1
	理数	40	10	30	37	1.2	↑ 0.9
	計	280	70	210	232	1.1	→ 1.1
長崎東	普通・国際	280	135	145	133	0.9	↓ 1.1
長崎北	普通	240	60	180	217	1.2	↓ 1.6
長崎南	普通	240	60	180	188	1.0	↓ 1.1
諫早	普通	280	151	129	172	1.3	↑ 1.1
長崎工業	機械	40	20	20	7	0.4	↓ 0.9
	機械システム	40	20	20	16	0.8	↑ 0.4
	電気	40	20	20	15	0.8	↓ 1.3
	電子工学	40	20	20	14	0.7	→ 0.7
	情報技術	40	20	20	31	1.6	→ 1.6
	建築	40	20	20	21	1.1	↓ 1.8
	工業化学	40	20	20	8	0.4	↓ 0.7
	インテリア	40	20	20	14	0.7	↓ 1.5
計	320	160	160	126	0.8	↓ 1.1	

入試内容については、一昨年度までは、「数学」「英語」で難易度の違うA・Bの2種類の問題を学校が選ぶ問題選択制が採用されておりましたが、昨年度より廃止となりました。ただ、中学校の休講措置等があったものの、昨年と違い、高校入試内容に削除単元等は無く、例年通りの試験範囲での入試となりました。

数学では、【会話文に沿って説明を完成させる文字式の記述問題】や、【会話文を読み解き、論理的に説明する確率の記述問題】など、文章の流れを正しく理解し、最適な解法をその場で考える問題が出題されました。英語でも、Chart（図表）の内容について答える問題や、対話文を読み、【自然な対話になるように英文を考えて書く】問題、【自分自身に関する質問に英語で答える】問題など、これまで以上に実践的に英語を使用することを想定した設問が増えました。依然として、数・英は単なる基礎学習の徹底した対策だけではなく、応用・発展レベルの問題を解く力が必要とされています。また、国語では、【発表原稿】や【円グラフ】などの資料から未完成の原稿を完成させることや、工夫を考えることなど、思考力を要求される記述問題が出題されています。このような、様々な資料に目を通し、内容を比較・吟味した上で時間内に解くためには、試験慣れはもちろん、試験中の時間配分が重要となります。単元ごとの学習だけではなく、入試直前期には、入試本番と同様の形式の模擬試験で練習を多く積むようにしましょう。

以下に、令和4年度の、英進館生の高校別合格者の自己採点による平均得点を一覧にして掲載しています。データによると、長崎西高の理系と普通科それぞれの5教科合計平均点を比べた際（傾斜配点なしで）、理系合格者の平均得点が普通科を40点上回っていました。昨年も理系合格者の平均得点が普通科を30点以上も上回っていたことから、入試制度が変わっても、例年と変わらず長崎西高理系の難易度が突出していたことがわかります。

令和4年度 高校別合格者 自己採点平均得点（傾斜なし500点満点、小数四捨五入）

学校名	国語	数学	社会	理科	英語	合計
長崎西 理系	81	80	88	91	86	426
長崎西 普通	76	68	82	83	77	386
長崎東	74	61	76	79	67	357
長崎北陽台 普通	76	61	77	81	67	362
長崎北	76	62	73	74	58	343

※ 2022年3月9日(公立高校入試2日目)終了後に、英進館にて自己採点会を実施。

長崎県教育委員会から公表されている小問ごとの配点と英進館が推測した採点基準をもとに、生徒の皆さんに自己採点をしてもらいました。

答案そのものではなく、再現答案による自己採点で、かつ英進館生(当日来た方のみ)の集計で作成しております。あくまでも目安としてご覧ください。

なお、集計対象生徒数が10名未満の高校は掲載しておりません。